

民報



NO.1018

2015・5・3

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三・四四五八
F 四三三・四四五七



松浦氏 菊地氏痛恨の落選

当選するも

4月26日投開票の網走市議会選挙で、日本共産党の2候補は、得票数・率とも前回選挙を上回る善戦健闘をしましたが、残念ながら2議席を獲得するに至りませんでした。

選挙結果は

松浦さとし	1121票	9位	当選
きくち宏	750票	18位	落選
2人合計	1871票	得票率9・46%	
(前回)	1606票	得票率6・75%	

でした。

この結果は候補個人の問題ではなく、日本共産党網走市委員会の力不足によるものです。

日本共産党の2議席は市民の暮らしを守る上でも、市議会のチェック機能を高めるためにも貴重な議席でした。

今回1議席を失ったことは、共産党の候補に投票していただいた方はもとより、多くの市民のみなさんの期待に応えられなかったことになり、痛恨の極みです。みなさんに深くお詫び申し上げます。

今後議会において、1議席のみでは質問や発言の機会が大幅に減少し市民のみなさんの声を届ける力が弱くなってしまうことが予想されます。

しかし、1議席となった現実をしっかりと受け止め、みなさんのお力を借りながら、市民の暮らしを守る、市民の願いを議会に届けるために全力をつくさねばなりません。

今後とも一層のご支援をお願いする次第です。

菊地ひろし まっしぐら！

昨年6月の立候補表明から、26日の投票日まで走り続けた毎日に一応の決着がつかしました。

みなさんとおつきあってきた大事な2議席を守ることが出来ず、本当に申し訳ありませんでした。自分の体調の悪さはさておき、私の体を心配して「大丈夫？」と声をかけてくれる方や、市内の問題箇所を指摘し「議員になって改善してほしい」と5人10人と支持を広げてくれた方、選挙事務所の裏方として私を支えてくれたすべてのみなさんの思いに、今後どう応えていくのが問われていると思います。

私が訴えた「戦争する国づくりは許さない」と言える議会にするために、地域のみなさんとより一層つながりを強め、松浦議員の後押しをしていきたいと思います。

松浦 奮戦メモ

4月上旬に、あれほどたくさん残っていた雪が、その後、気温がグングン上がり市議選直前には道路わきの雪はなくなっていました。

それにしても告示日は雪が降り寒かったです。2日目も雨が降って途中でカッパを着て演説をしました。その後は、天気にも恵まれ昼間はコートなしで演説をすることができました。選挙の結果は、お陰さまで5期目の当選をすることができました。支持して下さいましたみなさんに心から感謝いたします。

さて、天気が続く、私の選挙事務所前の桜が、連休前に咲きそうな感じになっていますが、後援会・支持者のみなさんと笑顔で桜を見ることがとても嬉しいです。

これからも後援会のみなさんと楽しい行事をしながら、4年後に向けて活動を開始しますので宜しくお願いします。

流水

昨年秋、生産者米価が大暴落し、60キロ当たり8千〜9千円と40年前の水準に落ち込みました。何とミネラル・ウォーター

タイ(500ミリリットル)の半価です。農家の米作りは続けられない…との悲鳴ももつともです。▼世界最低レベルの食料自給率39%、その中で唯一、100%の自給率で支える米生産が危機に直面しているのです。▼この様に米暴落で農家が苦しんでいる中で政府はというと、TPP交渉で米国から5万トンの食用米を国産米の相対価格より2割も安く輸入すると表明しました。米国米は既に70万トンも輸入しているのにです。全く政府の食料政策には驚きを通りこして、あきれれる他ありません。▼このような状況を放置しておいては、日本農業の破綻を引き起こし、ひいては消費者に対して安定した食料の確保はされないうこととなります。こんな誤った政府の食料政策は今すぐ止めさせる事が大切でしょう。(K)

